

## 生活困窮者支援における就労支援

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊感情や自己有用感を喪失している。

このため、本制度における就労支援は、

① 常に本人を起点とし、

② 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、包括的な支援の一環として展開する。

③ 本人の状態に合わせ、必要に応じてステップアップも意識しながら支援する。

⇒ 就労支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

<u>丁寧な相談支援</u> “きちんと”	【     】 ① 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成 【     】 ② 信頼関係の構築と自尊感情、自己有用感の回復 に向けた支援 【     】 ③ ストレングスに着目した支援 【     】 ④ 就労意欲の喚起
<u>チームによる支援</u> “みんなで”	【     】 ⑤ 主任相談支援員、相談支援員との協働 【     】 ⑥ 就労準備支援事業等の活用 【     】 ⑦ ハローワークその他の関係機関・者との協働
<u>切れ目のない支援</u> “ずっと”	【     】 ⑧ アウトリーチによる発見・支援 【     】 ⑨ 多様なプログラムの用意 【     】 ⑩ 個別のニーズに応じた職業紹介 【     】 ⑪ 定着支援と企業支援
<u>社会資源の活用と 開発</u> “つながる・つくる”	【     】 ⑫ 関係機関・者とのネットワークの構築 【     】 ⑬ 企業との関係づくり 【     】 ⑭ 中間的就労や実習場所等の開拓 【     】 ⑮ 居場所づくり 【     】 ⑯ 町おこし、地域づくり

取り組んでいる→ ○     これから取り組みたい→ △     特に重点的に取り組みたい→ ☆